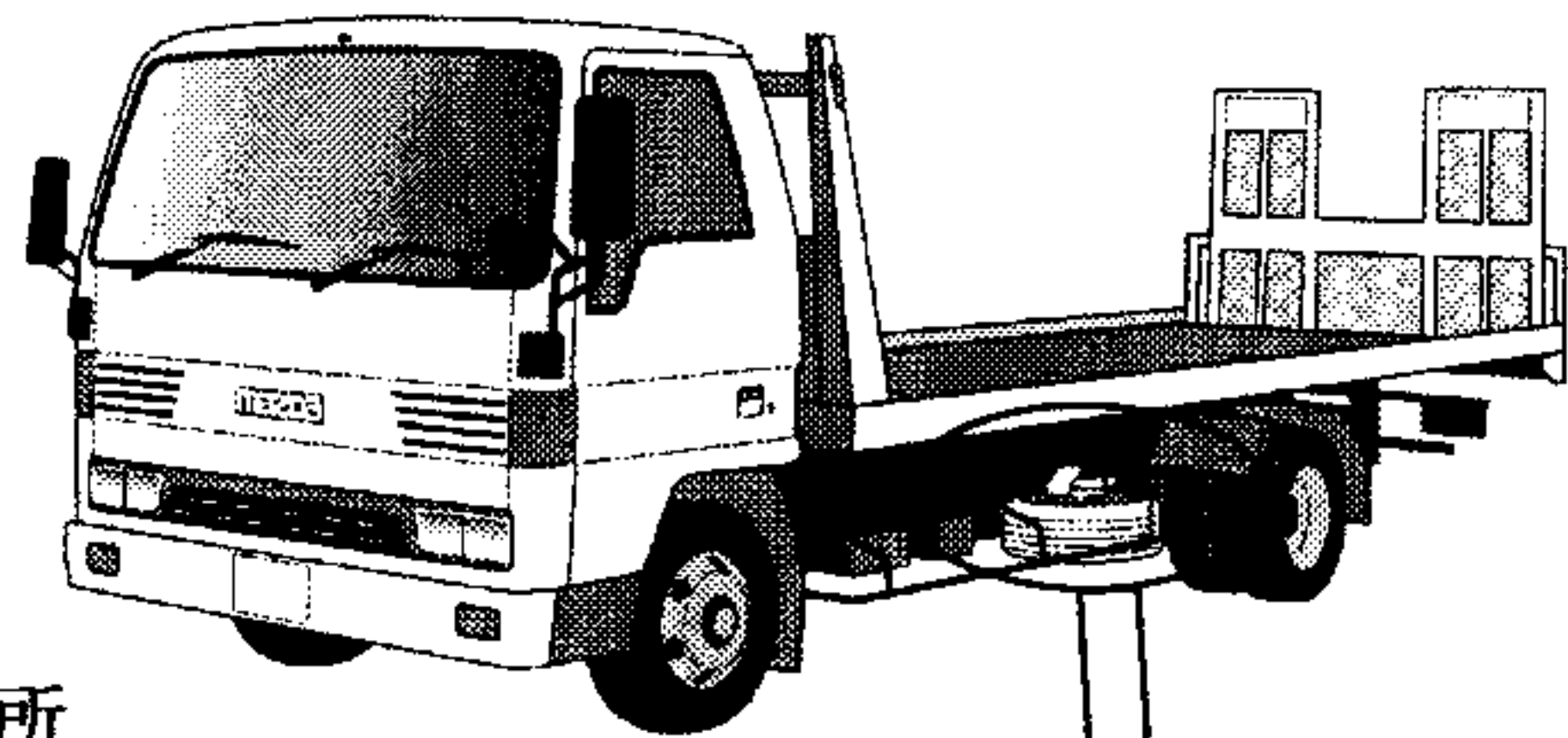
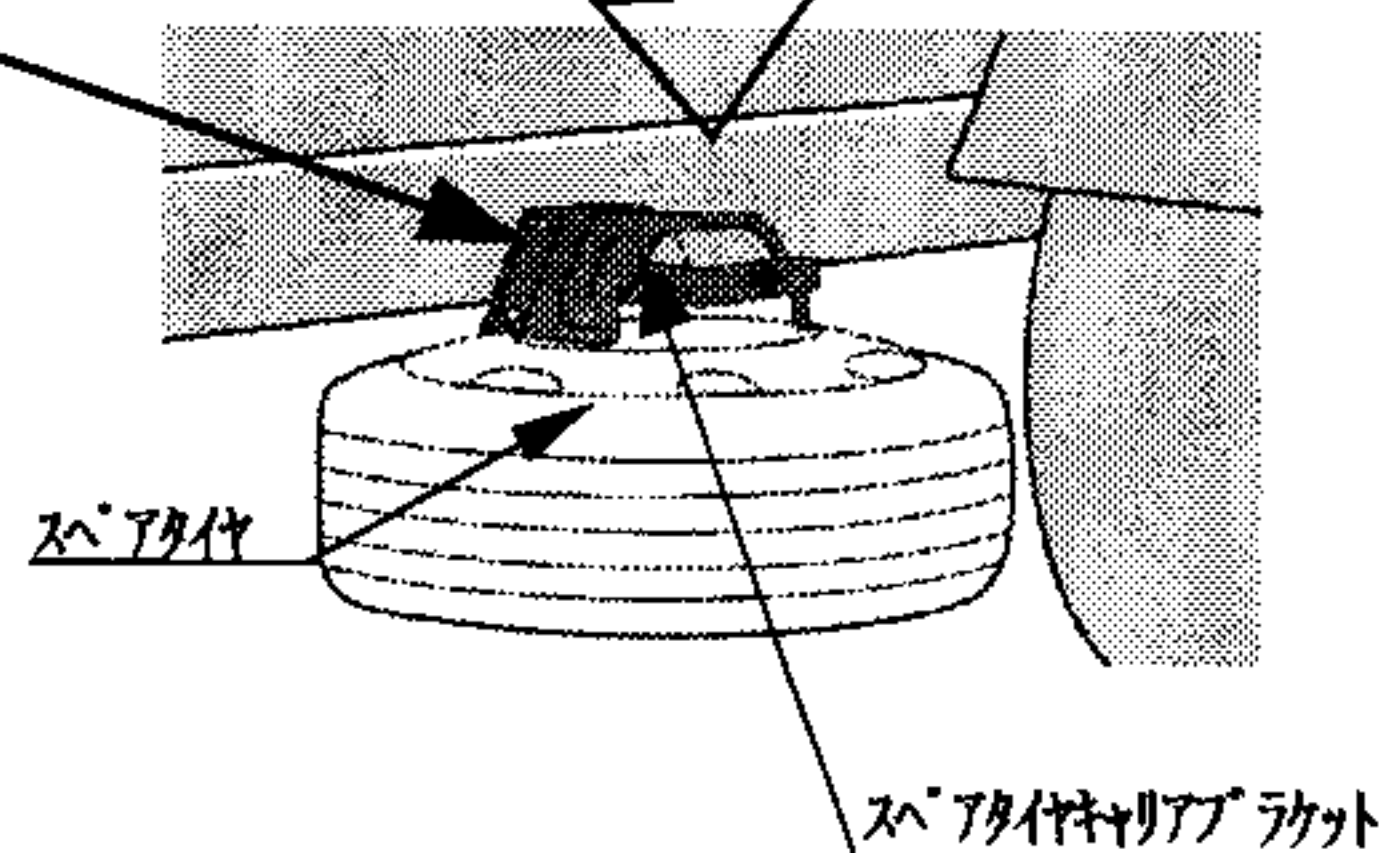




基準不適合発生箇所

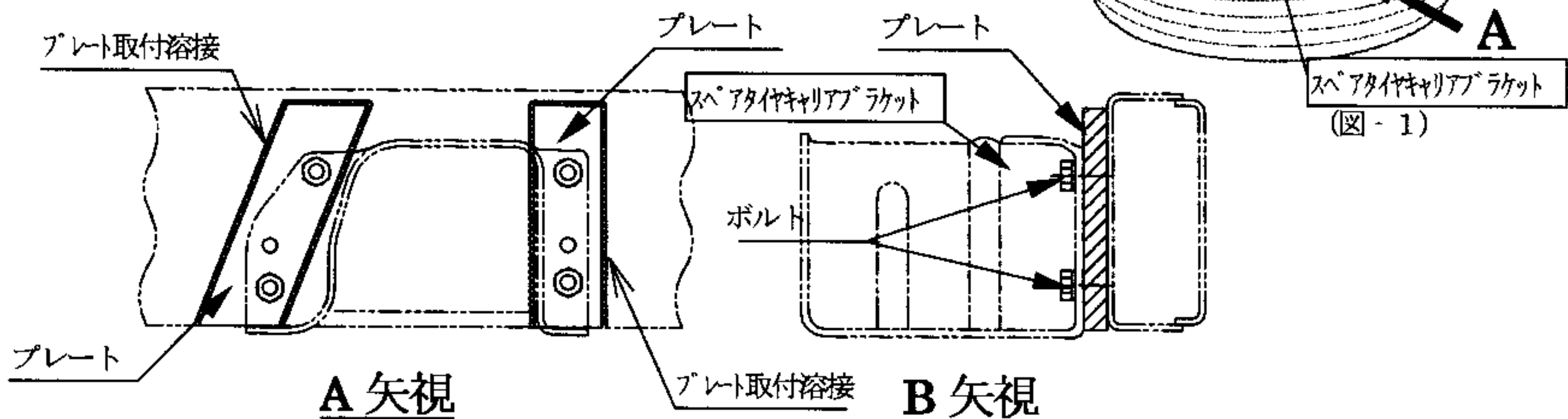
スペアタイヤキャリアブラケットを移設した際の取付け方法が不適切なため、走行中の振動により当該ブラケットに亀裂が生じるものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、当該ブラケットが折損してスペアタイヤとともに脱落し、他の交通の安全を妨げるおそれがある。



改善内容

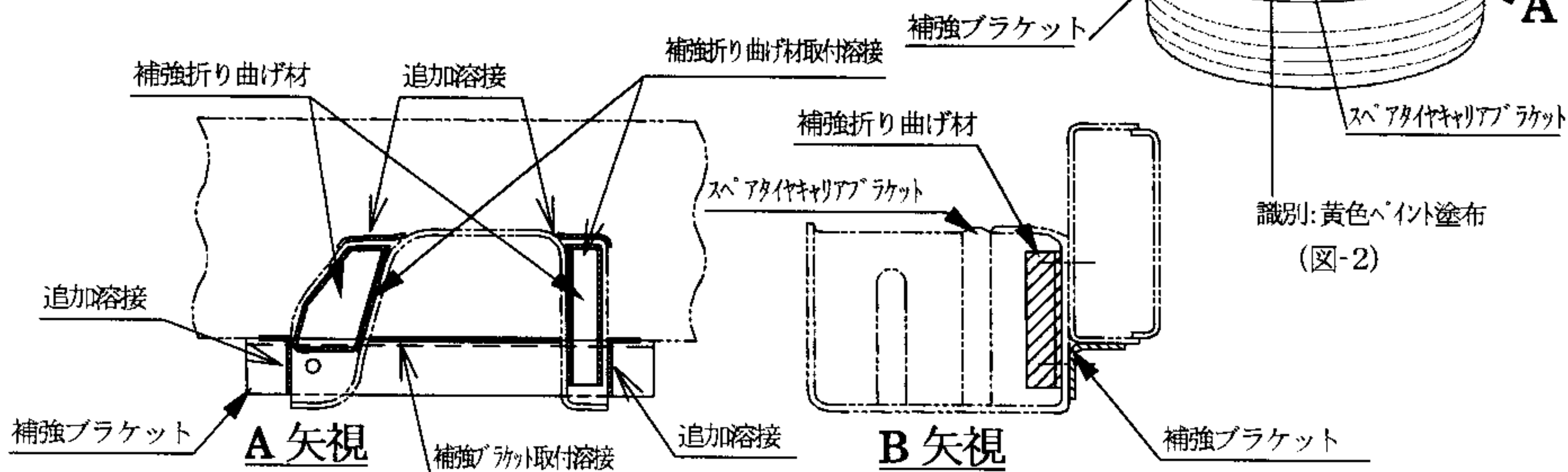
全車両、スペアタイヤキャリアブラケットを点検し、亀裂状態に応じて下記の処置をとる。

- ① 亀裂が当該ブラケットの曲げ部に達している場合は、シャーシフレームにプレートを溶接し、新品のスペアタイヤキャリアブラケットとボルト締結する。(図-1)



- ② 亀裂が当該ブラケットの曲げ部まで達していない場合は、亀裂部を補修溶接し、当該ブラケットを追加溶接するとともに、補強ブラケット及び補強折り曲げ材を溶接で追加する。(図-2)

- ③ 亀裂がない場合は、当該ブラケットを追加溶接するとともに、補強ブラケット及び補強折り曲げ材を溶接で追加する。(図-2)



識別：当該ブラケットに黄色ペイントを塗布する。

は、交換部品を示す。